

ポウさんぽ...

「サマーボランティア体験 2019」



～新たな出会い、そして次のボランティア活動へ！～

▲齋藤さん（左）と鈴木さん（右）

毎年開催されているサマーボランティア体験に、北陸高校1年生の齋藤さん、鈴木さんが参加しました。

お二人が参加しようと思ったのは、「夏休み中、部活もないし、何かできることはないかな」と、教頭先生に相談したことがきっかけ。サマーボランティア体験を勧められ、障がい児・者福祉施設 フレンズみゆき（御幸4丁目106-2）で活動することになりました。

当日は、工作や水遊びの見守りなどの活動を行ったお二人。活動前には「上手くしゃべれるかな」と心配していましたが、子どもたちに寄り添い、優しいまなざしで見守ったり、工作に戸惑っている子には作り方の図を見せながらサポートしたりと、相手のことを考えて、しっかりとコミュニケーションを取っていました。

体験後に話を聞いてみると「楽しく活動することができた」「普段の高校生活では出会えない人と出会い、視野が広がった。今度は子ども食堂にも行ってみたい」と、笑顔で話していました。活動を楽しみ、次のボランティア活動にも目を向けようとするお二人に、頼もしさを感じました。

活動を通して色々な人と出会い、自分の世界が広がるのは、ボランティア活動の醍醐味です。皆さんも、ぜひ、お気軽にボランティア活動に参加してみてください！



▲工作活動を見守っています



みんなの 突撃インタビュー！

公益財団法人
がんの子どもを守る会
福井支部 編

「活動のキーワードは“笑顔”」

今回は、公益財団法人 がんの子どもを守る会福井支部の坪田さんに、ボランティア活動の様子をインタビューしました！



▲がんの子どもを守る会
福井支部の坪田さん



▲活動の様子



▲啓発イベントの様子

Q がんの子どもを守る会福井支部はどんな団体ですか？

A 小児がんの子どもとその家族を支援している団体です。本部は東京にあり、全国 21 支部の福井県支部で、支部のない石川県の支援も行っています。主に、小児病棟内で読み聞かせや紙芝居、ちょっとした遊びの提供、小児がんの知識普及、啓発活動、同じ仲間同士の交流の場や相談支援などの活動をしています。

Q どんなボランティア活動がありますか？

A 福井大学病院小児病棟内で子どもたちへの読み聞かせやお見舞いに来られた兄弟姉妹さんたちと一緒に遊ぶ活動があります。また、毎年2月15日の「国際小児がんデー」に合わせ、県内各地（量販店等）での啓発チラシの配布や募金活動などのボランティアもあります。

Q ボランティアさんへメッセージを！

A 病気があっても子どもは子ども。子どもやその家族に少しでも笑顔が見えるよう、一緒に遊んでほしいです。また、啓発活動や当会の運営などをお手伝いしてくれる方がいるととても助かります。ぜひ、一度お問い合わせください。なお、病棟での活動にあっては、感染症の抗体検査、予防接種の有無について確認させていただきます。

ボランティア活動の希望や問い合わせなどは、下記までお気軽にご相談ください！

<お問い合わせ>

公益財団法人 がんの子どもを守る会福井支部（勝見 1-13-14）

TEL・FAX 22-5132（担当 坪田さん） Eメール nozomi-f@mx3.fctv.ne.jp

http://www.3.fctv.ne.jp/~nozomi-f/

facebook ページ https://www.facebook.com/gannokodomofukui/